

ACID LAC J LIQUID

1. 製品及び会社情報

製品名	: アシッドラック J リキッド (ACID LAC J LIQUID)
用途	: 有機酸混合飼料。詳細は製品仕様書を参照のこと。
会社名	: Kemin Industries (Asia) Pte Ltd
住所	: 12 Senoko Drive Singapore 758200
電話番号	: +65-67551633
FAX 番号	: +65-67541266
電子メールアドレス	: Singapore@kemin.com
ホームページアドレス	: www.kemin.com
緊急連絡先	: ケミン・ジャパン株式会社 Tel: 03-3239-2501

2. 危険有害性の要約

本製品は、化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS)および EC 指令 1272/2008(CLP 規制)に基づき、危険品に区分される。

可燃性液体: カテゴリー4

眼に対する損傷性/刺激性: カテゴリー1

皮膚腐食性/刺激性: カテゴリー1

皮膚感作性: カテゴリー1

水生環境有害性 – 急性水生毒性: カテゴリー3

水生環境有害性 – 長期水生毒性: カテゴリー3

危険有害性分類: 可燃性液体、皮膚の深刻な火傷、眼の損傷、アレルギー性皮膚反応、呼吸器の炎症を起こす可能性、水棲生物に対する長期的な悪影響



ピクトグラム: 腐食性、感嘆符

注意書き – 安全対策:

熱、火花、火気、加熱表面から遠ざける。喫煙しない。粉塵や煙霧、気体、霧、蒸気、噴霧等を吸入しない。取扱い後は皮膚をよく洗う。戸外か、よく換気された環境で使用する。汚染された作業衣を作業環境から持ち出さない。環境中への放出を避ける。適切な保護手袋、保護衣、眼/顔面の保護具を着用する。

ACID LAC J LIQUID

注意書き - 応急措置:

すぐに毒物センター、または医師に連絡する。火災の場合、消火には二酸化炭素、粉末、泡、霧状の水または水の噴霧により消火する。漏出物は回収する。飲み込んだ場合、口をすすぐ。無理に吐かせない。皮膚に触れた場合、大量の石鹼水で洗う。皮膚や髪に付着した場合、汚染された衣類等を脱ぎ、水/シャワーで洗浄する。皮膚への刺激がある場合、医師の診断を受ける。汚染された衣類は再度使用する前に洗濯する。吸い込んだ場合、当人を汚染された領域から移動させ、呼吸しやすい姿勢で休息させる。眼に入った場合、数分間流水で洗浄する。可能であればコンタクトレンズは外し、良くすすぐ。眼の炎症が起きる場合、医師の診断を受ける。火災の際には、二酸化炭素、粉末、泡または霧状の水により消火する。

注意書き - 保管: 密栓して保管する。よく換気された冷涼な環境に保管する。

注意書き - 廃棄: 認可を受けた廃棄物処理場で処分する

3. 組成、成分情報

化学名又は一般名	CAS 番号	絵表示及び注意喚起語	濃度(%)
プロピオン酸	79-09-4	203-743-0	< 40%
ギ酸	64-18-6	200-579-1	< 10%
D-リモネン	5989-27-5	227-813-5	< 1%
その他の原料は有害性を持たない			

4. 応急措置

- 吸入した場合	: 吸入した場合、当人を汚染された領域から移動させ、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合	: 無理に吐かせてはならない。意識があるならば、口を水でよくすすぐ。気分が悪いときは、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合	: 接触部を石鹼水でよく洗い流す。皮膚に刺激を感じる場合は、医師の診断を受ける。
- 目に付着した場合	: まぶたを開いたまましっかりと押さえて流水で数分間洗い、汚染物質が完全に洗い流されるようにする。医師の診断を受ける。
- 応急処置設備	: 眼洗い設備、安全シャワー、通常の手洗い設備
- 医師への助言	: 症状に応じて処置してください。

ACID LAC J LIQUID

5. 火災時の措置

消火剤	: 二酸化炭素、粉末消火剤、泡消火剤または水噴霧を使用する。
燃焼発生物による危害	: 燃焼により、有毒で刺激臭のある気体が発生する可能性がある。
特有の危険有害性	: 可燃性液体。火に晒された場合、容易に燃焼する。
分解温度	: 不明
消火を行う者の保護	: 陽圧モードの空気呼吸器(SCBA)、化学用保護衣等の全身保護具を使用する。水噴霧により熱に晒された容器を冷却してよい。安全な位置からの消火に努める。製品がドレーン、排水路へ流れ込まないようにする。

6. 漏出時の措置

緊急対応	: 暴露を避けるため適切な保護衣、保護具を着用すること。火元を消火するか取り除き、安全に行えるならば漏出を止める。換気を強化する。保護されていない人員は退避する。可能であれば流出を防ぐ。不活性、不燃性の吸着剤を流出物の上に撒く。清潔で火花の出ない道具を用いて吸着剤を回収し、リサイクルまたは廃棄のための適切な、表示をした容器に収める。地方自治体の法令に従って廃棄する。下水または水路の汚染が生じた場合、地方自治体の法令に従って担当部局に通報する。
------	---

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意	: 腐食性、可燃性の液体。近くで火気を使用しない。混合時、使用時には適切な保護衣、保護手袋及び眼、顔面用の保護具を着用する。適切に換気された専用の作業場で使用する。蒸気、噴霧、煙霧の吸入を避ける。使用しない時には容器を密閉する。衛生状態の維持に務める: 使用後の手洗い、飲食や喫煙、用便の前の手洗いを必ず行う。有害物質を含むため、容器の加圧、切断、加熱、溶接等をしないこと。作業環境での噴霧、蒸気の発生を防ぐこと。
保管	: 腐食性、可燃性の液体であることに留意して保管する。きつく密閉し、乾燥し、よく換気された直射日光の当たらない涼しい場所に保管する。キャッチタンクを設置する。火花、火炎、その他の点火源を避ける。混触危険物質から遠ざける。非使用時には容器を密閉・密封し、物理的衝

ACID LAC J LIQUID

撃から守る。熱源、点火源や直射日光、湿気の及ばないよく換気された場所に保管する。静電気の放電に注意する。相応しい接地手順に従う。適切にラベル表示された容器に保管する。破損、漏出がないか定期的に検査する。適切な消火装置を保管場所の近くに設置する。

8. 曝露防止及び保護措置

職業曝露の許容濃度 : 本製品についての曝露許容濃度は確立されていないが、含有するある種の化学物質への曝露は有害反応やアレルギー反応を悪化させるため、可能な限り最小限に抑える必要がある。それぞれの物質に対する、各国での曝露基準は下記のとおりである:

国	化学物質	曝露基準	曝露上限	単位
日本	ギ酸	TWA	5	ppm
		TWA	9.4	mg/m ³
シンガポール	ギ酸	TWA	5	ppm
		TWA	9.4	mg/m ³
		STEL	10	ppm
		STEL	19	mg/m ³
	プロピオン酸	TWA	10	ppm
		TWA	30	mg/m ³

TWA (時間荷重平均許容濃度): 通常週 5 日の 8 時間労働に換算した場合の空気中の許容濃度。

*Mppcf – 100 万の粒子/一立方フィートの空気中あたり。インピンジャー法により捕集、吸光度で定量。

- 生物学的許容量 : 設定されていない。
- 技術的対策 : 周辺大気中の蒸気発生を防ぐため、作業場の換気を十分に行うこと。閉鎖領域で蒸気や噴霧が発生して自然換気が不十分な場合、換気/排気設備が必要。
- 呼吸器用の保護具 : 技術的対策としての換気が充分でないため噴霧に暴露しうる場合、交換可能な粒子フィルタを装着した保護マスクを使用する。
- 目の保護具 : 側面の保護された安全メガネまたは化学用保護ゴーグルを着用する。作業環境に応じて適切な眼/顔面の保護具を選択する。
- 手の保護具 : PVC のような不浸透性素材の保護手袋を着用する。取り扱い方法やリスクアセスメント等、作業環境に応じて適切な手の保護具を選択する。
- 身体の保護具 : 首及び手首までボタンで留めた作業衣等、適切な保護衣を着用する。大



安全性データシート

ACID LAC J LIQUID

量に使用する場合は、化学防護された前掛けを着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 液体
色	: 茶色
臭い	: 酸臭
分解温度	: 不明
融点	: 不明
沸点	: 不明
水への溶解度	: 水と混和する
pH(10%水溶液)	: 0.2 - 1.2
蒸気圧	: 不明
蒸気密度(大気=1)	: 不明
蒸発率	: 不明
臭気閾値	: 不明
n-オクタノール/水	: 不明
比重	: 1.00 - 1.20
引火点	: 85℃
燃焼性	: 不明
自己発火温度	: 不明
爆発下限	: 不明
引火上限	: 不明
その他の情報	: 不明

10. 安定性及び反応性

反応性	: 混触危険物質と反応する。
安定性	: 通常の保管、取り扱い条件下では安定
避けるべき条件	: 熱、火炎、点火源を避ける。
混触危険物質	: 酸化剤、強アルカリへの曝露を避ける。
危険有害な分解生成物	: 熱分解により一酸化炭素、二酸化炭素を含む有害/刺激性の煙霧・気体が発生する可能性がある
危険有害な重合生成物	: 有害な重合の発生は知られていない。

ACID LAC J LIQUID

11. 有害性情報

経口毒性	: 飲み込んだ場合、消化管に炎症を引き起こす可能性が高い。吐き気、嘔吐を生じる恐れがある。
吸入毒性	: 噴霧/蒸気の吸入により鼻、喉、呼吸器の炎症を引き起こす場合がある。
皮膚	: 皮膚に深刻な火傷を起こす。皮膚への接触により赤み、痒み、腫れを引き起こす。反復曝露により皮膚の乾燥、ひび割れ、皮膚炎を起こす。
眼	: 眼に深刻な障害を起こす。角膜にひどいやけどを起こし、眼の病変や視力障害を生じる恐れがある。
呼吸器感受性	: 呼吸器感作を起こすとは考えられていない。
皮膚感受性	: 皮膚のアレルギー反応を引き起こす場合がある。
生殖細胞変異性	: 変異原性は知られていない。
発がん性	: 発がん性は知られていない。
繁殖毒性	: 繁殖毒性は知られていない。
特定臓器毒性 – 単回曝露	: 内容物により、区分3 気道刺激性に分類される
特定臓器毒性 – 反復曝露	: 反復曝露により特定臓器へ毒性を示すとは考えられていない。
吸引性呼吸器有害性	: 吸引性呼吸器有害性を示すとは考えられていない。
慢性毒性	: 知られていない。

12. 環境影響情報

水生環境毒性	: 水生生物にとって永続的に有害な影響を及ぼすおそれがある。
残留性/分解性	: 不明
移動性	: 不明
生物濃縮ポテンシャル	: 不明
環境保護	: 本製品を水路、ドレーン、下水に流さないこと

13. 廃棄上の注意

廃棄	: 漏出物や廃棄分については、地方自治体の法令に従い廃棄する。
----	---------------------------------

14. 輸送上の注意



安全性データシート

ACID LAC J LIQUID

国連のモデル法令に基づき、輸送の際の危険品に分類される。

- 国連番号 : 1760
- 分類 : 8
- 品名 : CORROSIVE LIQUID, N.O.S (プロピオン酸)
- 容器等級 : III
- HAZCHEM コード : 2X

15. 適用法令

適用法令 : 本製品は、GHS および EC 指令 1272/2008 (CLP 法令)により危険品に分類される。

16. その他の情報

安全データシート作成日 : SDS は 2014 年 1 月に作成された。

参照文献

シンガポール

Singapore Standard SS586 : Part 1 to Part 3, 2008

Singapore Standard SS532:2007 : The Code of Practice for the storage of flammable liquids.

Workplace Safety and Health (General Provisions) Regulations 2006

日本

許容濃度等の勧告(2012-2013) 日本産業衛生学会

化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS)

Classification and Labeling Inventory database – 欧州化学機関

国際連合危険物輸送勧告(UNRTDG)

本安全性データシートの内容及び様式は、EC 規制(EC)第 1907/2006 号に基づく。

記載内容の取扱い

本安全性データシートの情報は、信頼性があると考えられる資料から入手されたものですが、その正確性に関しては、明示あるいは黙示を問わずいかなる保証をなすものではありません。本製品の取扱い、保管、用途又は廃棄の条件又は方法については、弊社の責任の範疇を越え、また、弊社の知識の範囲外



安全性データシート

ACID LAC J LIQUID

であると考えます。これらの理由から、本製品の取扱い、保管、使用又は廃棄に起因して又は何らかの形で附随して生じた損失、損害又は費用については、弊社が責任を負うものではなく、ここに責任の否認を明記いたします。本安全性データシートは、本製品のみを対象として作成され、使用するものです。他の製品の一部として本製品を使用する場合、本安全性データシートは適用されない場合があります。

以上